



Aerophone Pro AE-30

取扱説明書

取扱説明書（本書）

Aerophone Proの基本的な使いかたについて説明しています。

PDF マニュアル（Web からダウンロード）

- **シーン・リスト**
Aerophone Pro音色リストの詳細資料です。
- **Aerophone Pro パラメーター・ガイド**
本機で設定できるパラメーターについて説明しています。
- **MIDI インプリメンテーション**
MIDI機器と接続するときを使う、MIDIメッセージの詳細資料です。

動画マニュアル

クイック・スタート・ビデオをご覧ください。

PDF マニュアルの入手方法

1. パソコンなどで下記の URL を入力します。

<https://www.roland.com/jp/manuals/>



2. 製品名「Aerophone Pro」を選んでください。

動画マニュアルへのアクセス

http://roland.cm/ae-30_qs



安全上のご注意

警告

Auto Off 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。自動的に電源が切れないようにするには、Auto Off 機能を解除してください (P.21)。



付属の AC アダプターを AC100V で使用する

AC アダプターは、必ず付属のものを、AC100V の電源で使用してください。



注意

小さな部品はお子様の手の届かないところに置く

下記の部品はお子様が悪く誤って飲み込んだりすることのないよう手の届かないところへ保管してください。



付属品、取りはずしが可能な部品

サム・フック・カバー

使用上のご注意

電池について

- 電池の消耗が著しいと、音が歪みやすくなったり、大音量時に音が途切れたりすることがありますが故障ではありません。このようなときは電池を交換するか、付属の AC アダプターを使用してください。
- 電池で使用する場合はニッケル水素電池を使用してください。
- 電池が入っていても、電源を入れたまま電源コードをコンセントから抜いたり、AC アダプターを本体から抜いたりすると、電源が切れます。このとき保存していない設定データは、消えることがあります。電源コードや AC アダプターは、必ず電源を切ってから抜いてください。

修理について

- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内容をバックアップするか、メモしておいてください。修理するときには記憶内容の保存に細心の注意を払っておりますが、メモリー部の故障などで記憶内容が復元できない場合もあります。失われた記憶内容の修復に関しましては、補償も含めご容赦願います。
- 当社では、本機の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打切後 6 年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、補償を含めご容赦願います。
- ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- 本機を机の上に置く場合は、机に傷などがつかないようにしてください。

外部メモリーの取り扱い

- 外部メモリーを使うときは次の点に注意してください。また、外部メモリーに付属の注意事項を守ってお使いください。
 - 読み込み中や書き込み中には取りはずさない。
 - 静電気による破損を防ぐため、取り扱う前に身体に帯電している静電気を放電しておく。

電波に関する注意

- 以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
 - 本製品を分解／改造する
 - 本製品の裏面に貼ってある証明ラベルをはがす
 - 本製品を購入した国以外で使用する
- 本機の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）や特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
 - 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
 - 移動体識別用の構内無線局や特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して、万一、本機が原因と思われる有害な電波干渉の事例が発生した場合には、電波の発射を停止した上で、混信回避のための処置等（たとえば、パーティションの設置など）についてローランドお客様相談センターにご相談ください。
 - その他、発生した問題についてお困りの場合も、ローランドお客様相談センターにご相談ください。
 - ※ ローランドお客様相談センターへの連絡につきましては、取扱説明書などに記載の「お問い合わせの窓口」をご覧ください。
 - 認証取得済みの特定無線設備を搭載しています。
- 本製品は心臓ペースメーカーの装着部位から 22cm 以上離して使用してください。ペースメーカーの動作に影響を与える恐れがあります。

知的財産権について

- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（音色波形データ、スタイル・データ、伴奏パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ループ、画像データなど）の著作権は当社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ（ただしデモ曲などの楽曲データは除く）を素材として、お客様が新たな作品を制作、演奏、録音、配布をするに関しては、当社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフトウェアプラットフォーム「eParts™」が搭載されています。
- Bluetooth®** のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、ローランドはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- 本製品は、T-Engine フォーラム (www.tron.org) の T-License 2.0 に基づき μ T-Kernel ソースコードを利用しています。
- 本製品には、第三者のオープンソースソフトウェアが含まれています。

Copyright © 2009-2018 Arm Limited. All rights reserved.
Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
You may obtain a copy of the License at <http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Copyright © 2018 STMicroelectronics. All rights reserved.
This software component is licensed by ST under BSD 3-Clause license, the "License";
You may obtain a copy of the License at <https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause>
- 本製品に搭載されている「中国語フォント MORISAWA SONG GB2312BMP12」は株式会社モリサワより提供を受けており、フォントデータの著作権は同社に帰属します。
- Roland, SuperNATURAL は、日本国およびその他の国におけるローランド株式会社の登録商標または商標です。
- 文中記載の会社名および製品名などは、各社の登録商標または商標です。

目次

安全上のご注意.....	2
使用上のご注意.....	2
主な仕様.....	3
各部の名称とはたらき.....	4
準備する.....	6
電源を選ぶ.....	6
ヘッドホン／外部スピーカーを接続する.....	6
電源を入れる／切る.....	6
音量を調節する.....	6
演奏する.....	7
構えかた.....	7
演奏する調を選ぶ.....	7
マウスピースのくわえかた.....	7
演奏キーの押さえかた.....	7
音色の設定をする.....	8
内蔵音色で演奏する (PRESET SCENE).....	9
好みの音色にエディットする (USER SCENE).....	9
音色を即座に呼び出す (FAVORITE SCENE).....	10
スマートフォンやパソコンと連携して使う.....	11
スマートフォンと連携して使う.....	11
設定手順.....	11
スマートフォンの曲に合わせて演奏する.....	11

スマートフォンのアプリを使う.....	12
パソコンのソフトウェアと連携して使う.....	12
メニューの設定をする.....	13
システム設定とシーン設定をする.....	13
システム設定.....	13
シーン設定.....	15
コントローラーに機能を割り当てる (Assign).....	16
コントローラーに MIDI コントロール用の機能を割り当てる (MIDI CONTROL).....	19
オート・オフ機能を解除する.....	21
工場出荷時の設定に戻す.....	21
MIDI フット・コントローラーで操作する.....	21
資料.....	22
ショートカット.....	22
ユーザー・シーンを即座に呼び出す.....	22
お手入れ方法.....	22
故障かな?と思ったら.....	23

主な仕様

電源	AC アダプター (DC5.7V) ニッケル水素電池単 3 形 (別売) × 6
消費電流	915mA
連続使用時の電池の寿命	ニッケル水素電池: 約 6 時間 (容量 1,900mAh 使用時) ※ 使用状態によって異なります ※ マンガン乾電池、アルカリ乾電池は使用不可
音源	ZEN-Core SuperNATURAL アコースティック
パート数	4 パート (ドラムは 1 パート)
プリセット・メモリー	プリセット・シーン: 300 以上
ユーザー・メモリー	ユーザー・シーン: 600 フェイスリット・シーン: 12
エフェクト	マルチ・エフェクト コーラス ディレイ リバーブ
Bluetooth	標準規格 Ver 4.2 対応プロファイル: A2DP (オーディオ)、GATT (MIDI over Bluetooth Low Energy) 対応コーデック: SBC (SCMS-T 方式によるコンテンツ保護に対応)
外形寸法	133 (幅) × 84 (奥行) × 687 (高さ) mm
質量 (電池含む)	1,140g

付属品	取扱説明書 「安全上のご注意」チラシ AC アダプター USB ケーブル (Type C-Type A) マウスピース・キャップ、バンド サム・フック・カバー (2 タイプ) ウォーター・プロテクター 専用ハンド・キャリー・バッグ 保証書
別売品	交換用マウスピース (OP-AE05MPH)

※ 本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

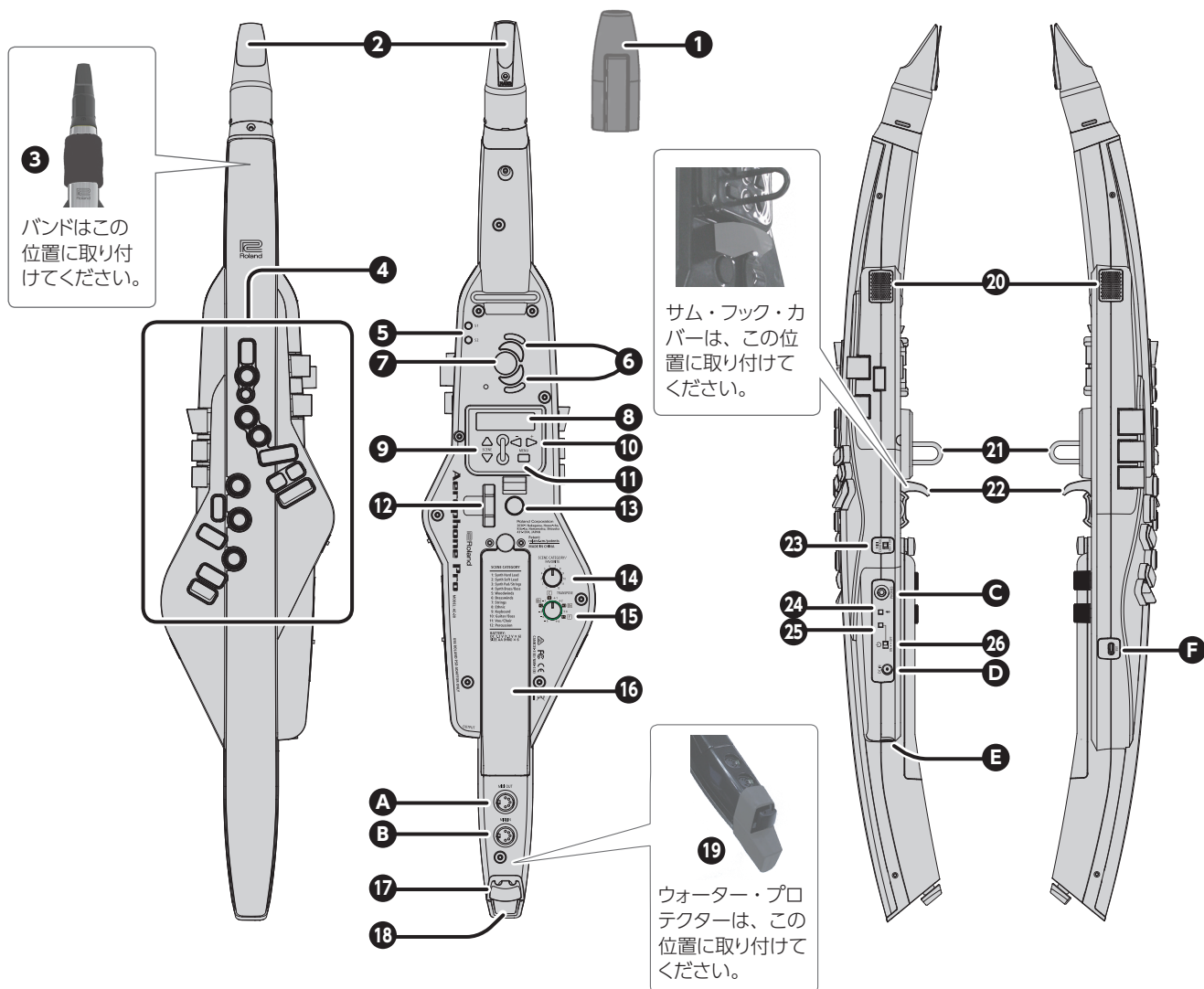
Español

Português

Nederlands

Fingering Chart
運指表

各部の名称とはたらき



1 マウスピース・キャップ

マウスピースを保護します。演奏しないときは、マウスピース・キャップをはめてください。カチッという音が鳴るまで押し込みます。

※ マウスピース・キャップを着脱するときは、マウスピースのリード部分に当たらないよう注意してください。

2 マウスピース

マウスピースとリードが一体になった、エアロフォン専用のマウスピースです。

→ 「マウスピースのくわえかた」 (P.7)

※ マウスピースを取り付けるときは、可動部と本体の間に指をはさまないように注意してください。

3 バンド

演奏中に唾液が本機を伝って、ボタンやスイッチ、演奏キーの周辺から内部に侵入するのを防ぎます。

4 演奏キー

演奏用のキーです。サクソと同じ運指で演奏することができます。サイド・キーなど一部のキーには、さまざまな機能やパラメーターを割り当てることができます。

→ 「演奏キーの押えかた」 (P.7)

→ 「コントローラーに機能を割り当てる (Assign)」 (P.16)

→ 『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』 (PDF) 「運指表」

5 [S1] / [S2] ボタン

さまざまな機能やパラメーターを割り当てることができます。

→ 「コントローラーに機能を割り当てる (Assign)」 (P.16)

6 オクターブ・キー

オクターブを切り替えます。±2、±3 オクターブやサクソ互換モードに設定することができます。左手の親指で操作します。

→ 『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』 (PDF)

7 サム・レスト

左手の親指を添えます。

→ 「構えかた」 (P.7)

8 ディスプレイ

シーン (音色) 名や各種パラメーターを表示します。

※ 本機のディスプレイは、操作をやめてから一定時間経過すると自動的に消灯します (P.13)。

9 [SCENE] (▲ / ▼) ボタン

シーン (音色) を選びます。

→ 「音色の設定をする」 (P.8)

10 [-] [+] (◀ / ▶) ボタン

メニュー項目を選んだり、設定値を変えたりします。

11 [MENU] ボタン

システム、シーン、アサイン、MIDI コントロールの詳細設定をします。また、[MENU] ボタンを長押しすると、ユーザー・シーン / フェイバリット・シーンの登録画面に移動します。

→ 「メニューの設定をする」 (P.13)

→ 「ユーザー・シーンを登録する」 (P.9)

「フェイバリット・シーンを登録する」 (P.10)

12 サム・レバー

ピッチ（音高）をアップ／ダウンします。また、さまざまな機能やパラメーターを割り当てることもできます。右手の親指で操作します。

- ➔ 「コントローラーに機能を割り当てる (Assign)」 (P.16)
- ➔ 『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』 (PDF)

13 サム・パッド

さまざまな機能やパラメーターを割り当てるができます。右手の親指で操作します。

- ➔ 「コントローラーに機能を割り当てる (Assign)」 (P.16)

14 [SCENE CATEGORY] つまみ

回す	プリセット・シーンのカテゴリーを切り替えます。
[SCENE] (▼) ボタンを押しながら回す	ユーザー・シーンのバンクを切り替えます。
[SCENE] (▲) ボタンを押しながら回す	フェイバリット・シーンを切り替えます。

- ➔ 「音色の設定をする」 (P.8)

15 [TRANPOSE] つまみ

演奏する調（基本キー）を選びます。

- ➔ 「演奏する調を選ぶ」 (P.7)
- [TRANPOSE] つまみで、スピーカーや外部に出力する音量を調節することもできます。
- ➔ 『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』 (PDF)

16 電池ボックス

本機を電池で使用するときは、ニッケル水素電池（単 3 形）を 6 本入れてください。電池ボックスの蓋は、ネジを回して開閉します。演奏するときは、電池ボックスの蓋をネジでしっかりと留めてください。

- ➔ 「電源を選ぶ」 (P.6)

17 コード・フック

コード類を本機に接続して使うときは、コード・フックに固定してください。誤ってコードが抜けることや、端子に無理な力がかかることを防ぎます。

18 ウォーター・ドレイン

水滴の排出口です。

19 ウォーター・プロテクター

ウォーター・ドレインから出た水滴を受けるカバーです。水滴が床などに垂れるのを防ぎます。使用後は、カバーをはずしてたまった水を捨ててください。

※ ウォーター・プロテクターの丸い凸部分を、本機下部の凹部分に合わせてはめ込みます。

20 内蔵スピーカー

本機の左右に 1 つずつ配置されています。演奏者がモニターとして音を聴くことができます。

21 ストラップ・リング

楽器用のネック・ストラップ（市販）を取り付けます。

22 サム・フック

フックの下側に右手の親指を添えます。お好みで付属のサム・フック・カバーを取り付けてください。

- ➔ 「構えかた」 (P.7)

23 [MIDI CONTROL] スイッチ

MIDI コントロール・モードをオン／オフします。MIDI コントローラーとして使用するときには、このスイッチをオンにします。

- ➔ 「コントローラーに MIDI コントロール用の機能を割り当てる (MIDI CONTROL)」 (P.19)

24 Bluetooth LED（青）

LED の表示で、Bluetooth 機能のオン／オフを確認できます。

点灯	Bluetooth 機能オン
点滅	Bluetooth オーディオ ペアリング接続待ち
消灯	Bluetooth 機能オフ

- ➔ 「スマートフォンと連携して使う」 (P.11)

25 電源 LED（オレンジ）

LED の表示で、電源のオン／オフと電池の残量を確認できます。

点灯	電源オン
点滅	電池の残量が少ない
消灯	電源オフ

26 [ON] スイッチ

本機の電源をオン／オフします。

- ➔ 「電源を入れる／切る」 (P.6)

機器を接続する

A MIDI OUT 端子 B MIDI IN 端子

本機と外部音源などの MIDI 機器を接続して、MIDI メッセージを送受信します。接続には、MIDI ケーブル（市販）を使います。

C Phones 端子（ステレオ・ミニ）

ヘッドホンを接続します。

- ➔ 「ヘッドホン／外部スピーカーを接続する」 (P.6)

D DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

- ➔ 「電源を選ぶ」 (P.6)

E OUTPUT 端子（標準・ステレオ）

オーディオ信号の出力端子です。アンプ内蔵スピーカーなどと接続します。

- ➔ 「ヘッドホン／外部スピーカーを接続する」 (P.6)

F USB 端子（Type-C）

本機とパソコンを付属の USB ケーブル（Type C-Type A）で接続して、MIDI やオーディオの送受信ができます。

また、USB メモリーを接続して、新しいシステム・プログラムが公開された場合に本機をアップデートすることもできます。

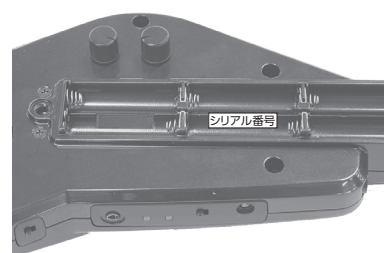
- ➔ 「パソコンのソフトウェアと連携して使う」 (P.12)

※ 本機は USB 電源で駆動しません。USB 端子に電源を接続しないでください。

※ 画面に「Writing...」と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、USB メモリーを抜いたりしないでください。

製品シリアル番号

本機のシリアル番号は、電池ボックスを開けた内側に記載してあります。製品のユーザー登録をするときに製品シリアル番号を入力してください。



準備する

電源を選ぶ

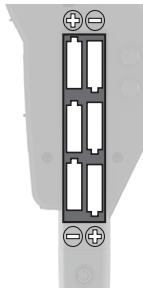
本機は、電池または付属の AC アダプターで動作します。

電池を使う

約 6 時間演奏できます。

1. ニッケル水素電池(単 3 形)を 6 本入れます。

- ※ 電池の寿命は、電池の仕様、容量、使用状況によって異なります。
- ※ 電池の残量が少なくなったときは、電源 LED (オレンジ) が点滅します。早めに電池を交換してください。
- ※ 本機を裏返すときは、破損を防ぐため、ボタンやつまみなどを保護してください。また、落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。
- ※ 電池の使いかたを間違えると、破損したり、液漏れしたりする恐れがあります。「安全上のご注意」「使用上のご注意」(『安全上のご注意』チラシと本書 (P.2)) に記載の電池に関する注意事項を守って正しくお使いください。

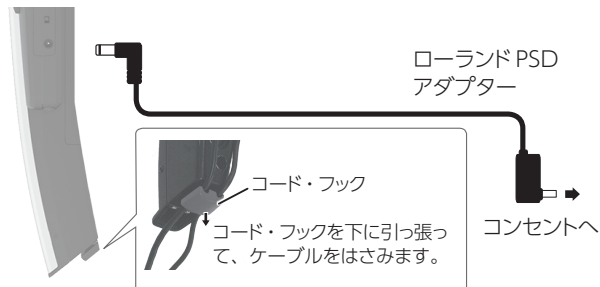


AC アダプターを使う

AC アダプターを使うと、電池切れを心配することなく演奏できます。

1. 付属の AC アダプターを図のように接続します。

- ※ AC アダプターのコードは、図のようにコード・フックを使って固定してください。



注意

本機に電池を入れた状態で、AC アダプターをつないでコンセントに差しても、電池を充電することはできません。電池は、市販の充電器で充電してください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

- ※ 本機に外部機器を接続している場合は、電源を入れる前に機器の音量を最小にしてください。

1. 本機の電源をオンにします。

電源 LED が点灯し、ディスプレイにシーン画面が表示されます。

2. 本機に外部機器を接続した場合は、外部機器の電源を入れ、音量を調節します。

電源を切る

1. 本機に外部機器を接続した場合は、外部機器の電源を切ります。

2. 本機の電源をオフにします。

- ※ 本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (オート・オフ機能)。自動的に電源が切れないようにするには、オート・オフ機能を解除してください (P.21)。

- ・電源が切れると保存していないデータは失われます。残しておきたいデータはあらかじめ保存しておいてください。
- ・電源を再びオンにするときは、電源を入れ直してください。

- ※ 電源を入れる／切るときに音がすることがありますが、故障ではありません。

音量を調節する

音量は演奏時の息の強さで調節しますが、メニュー設定で全体の音量を調節することができます。

本機の内蔵スピーカー

1. [MENU] ボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。

2. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンで「Speaker Volume」を選び、[MENU] ボタンを押します。

3. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンで、音量を調節します。

ヘッドホン／外部スピーカー

1. [MENU] ボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。

2. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンで「Output Volume」を選び、[MENU] ボタンを押します。

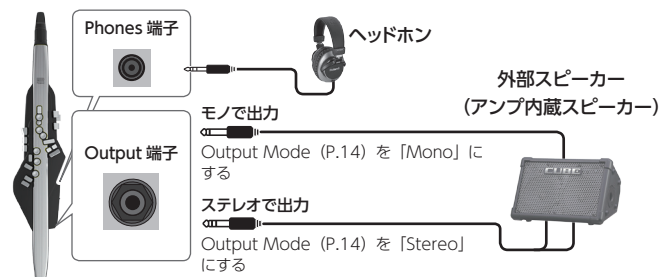
3. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンで、音量を調節します。

[TRANPOSE] つまみで、スピーカーや外部に出力する音量を調節することもできます。

➔『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』(PDF)

ヘッドホン／外部スピーカーを接続する

- ※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞、すべての機器の電源を切ってください。

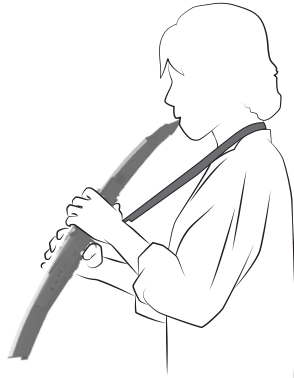


演奏する

構えかた

1. 図のように構えます。
2. 左手の親指をサム・レストに、右手の親指をサム・フックの下にあてます。

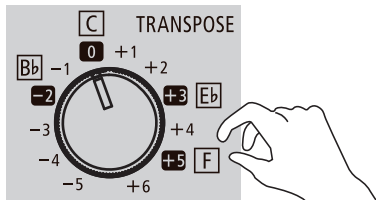
※ 楽器用のネック・ストラップ（市販）をご使用ください。



演奏する調を選ぶ

音域を半音単位でトランスポーズ（移調）します。

1. [TRANSPOSE] つまみを回します。



メモ

[TRANSPOSE] つまみは、システム設定の「Transpose Mode」の設定値によって、はたらきが異なります。

- Transpose Mode が「System」（初期値）の場合
トランスポーズは、常に [TRANSPOSE] つまみの値になります。
 - Transpose Mode が「Scene」の場合
シーンに設定されているトランスポーズ値になります。
- ※ [TRANSPOSE] つまみが指している値と実際のトランスポーズ値が異なる場合があります。
- ※ シーンにトランスポーズが設定されている場合でも [TRANSPOSE] つまみを回すと、つまみの値のトランスポーズになります。

TRANSPOSE MODE の設定方法

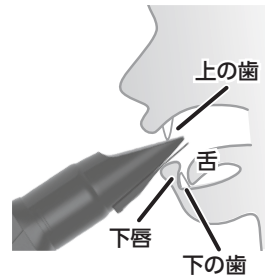
1. [MENU] ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
2. [-] [+] (◀/▶) ボタンで「Transpose Mode」を選び、[MENU] ボタンを押します。
カーソルの位置が下段に変わります。

Menu System 0 (C) [] []
Transpose Mode
System ▶

3. [-] [+] (◀/▶) ボタンで、設定値を変更します。

マウスピースのくわえかた

上の歯と下唇でマウスピースを軽くくわえ、息を吹き込みます。



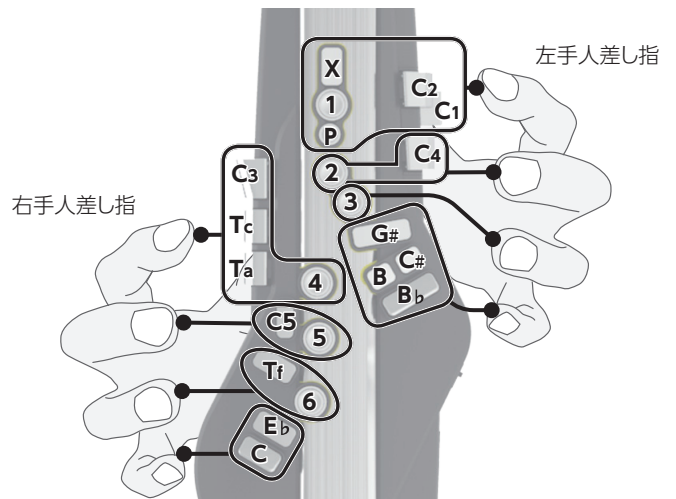
メモ

- 舌を使って息をコントロールするタンギングやレガート演奏をすることで、より豊かな表現ができます。
- リードをくわえる強さによって、音色をコントロールできます。
→『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』（PDF）

演奏キーの押さえかた

サクソスと同じ運指で演奏することができます。

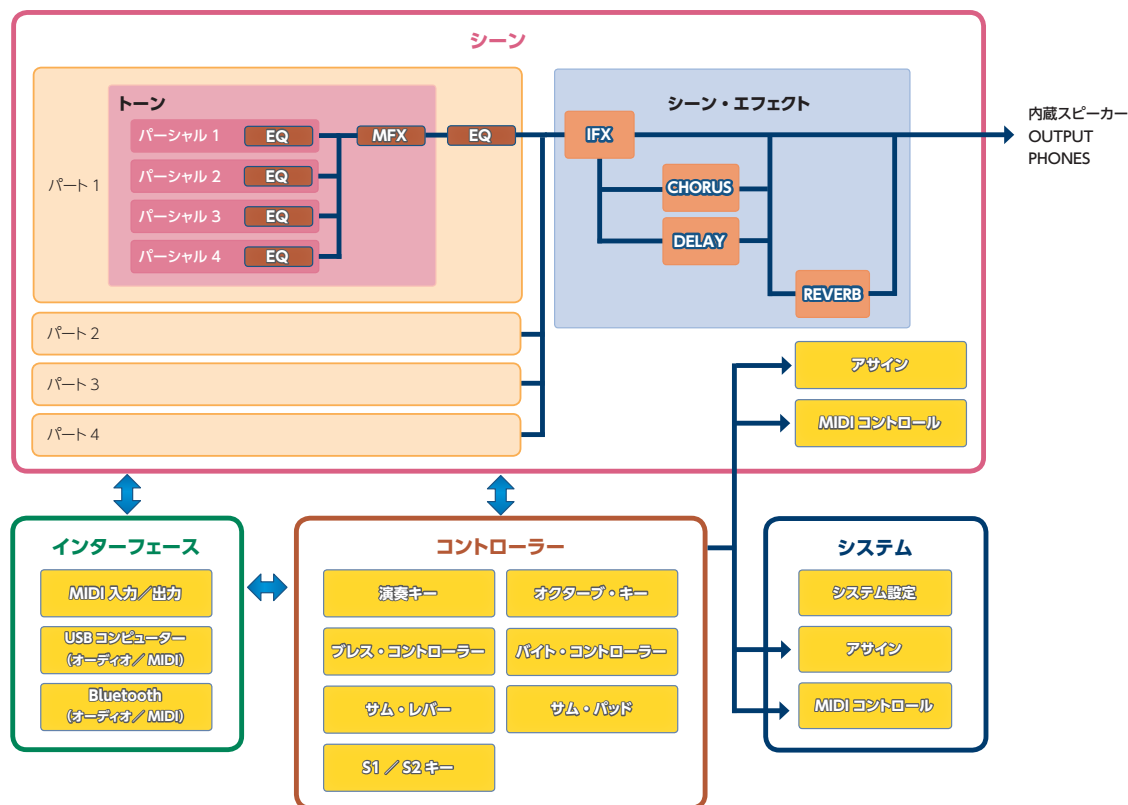
→ 運指については、巻末の「運指表」をご覧ください。



※ 本機を置くときは、マウスピース・キャップをはめて演奏キーを上にして置いてください。演奏キーを下にして置くとボタンが戻らなくなるなどの不具合が起こる恐れがあります。

音色の設定をする

概要



トーン

パートに割り当てる音色をトーンと呼びます。トーンは 4 つのパートシヤルから構成されます。トーンでは、オシレーター、フィルター、エフェクト (MFX) などの設定をします。

パート

4 つのパートに音色 (トーン) を割り当ててパンや EQ などを設定します。1 つのトーンを 1 つのパートに割り当てて鳴らします。パートは 4 つあります。ドラム・キット音色はパート 1 にしか設定できません。ドラム・キット音色をパート 1 に設定した場合は、2 ～ 4 パートは使用できません。

シーン

シーンは、パートごとの設定 (トーン番号、パン、音量など)、パート共通の設定 (シーン・エフェクトなど)、各コントローラーのアサイン設定、MIDI コントロール設定などを、まとめて記憶したものです。

演奏するときは、あらかじめシーンの設定をユーザー・バンクに保存しておき、切り替えて演奏すると便利です。50 シーン×12 バンクで、計 600 個のシーンを保存できます。また、FAVORITE に気に入りのプリセット・シーンとユーザー・シーンを 12 個まで登録することもできます。

※トーン、パート、シーンの詳細設定は、アプリ「Aerophone Pro Editor」(iOS / Android) から操作します。

システム設定

Aerophone Pro 本体の各種設定をします。

アサイン設定と MIDI コントロール設定は、システムとシーンの両方にあり、どちらの設定を使うかは、システムの「Asgn Src Breath」～「Asgn Src Key」(P.14) で設定します。

SuperNATURAL 音色とは?

Behavior Modeling Technology により、従来の音源では難易度の高かった「自然で豊かな表現」を可能にしたローランド独自の音色群です。

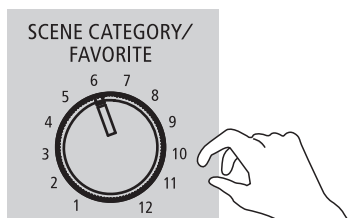
[SCENE CATEGORY] つまみについて

[SCENE CATEGORY] つまみで、プリセット・シーンのカテゴリー、ユーザー・シーンのバンク、フェイバリット・シーンを切り替えます。各シーンの設定方法については、P.9、P.10 をご覧ください。

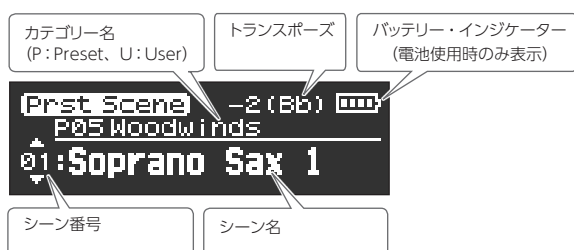
内蔵音色で演奏する (PRESET SCENE)

プリセット・シーン (内蔵音色) を選びます。本機には、シンセサイザー、管楽器、民族楽器など 12 のカテゴリーの音色が内蔵されています。

1. [SCENE CATEGORY] つまみを回して、音色のカテゴリーを選びます。



2. [SCENE] (▲ / ▼) ボタンで、シーンを選びます。



メモ

[SCENE] (▲ / ▼) ボタンを長押しすると、シーンが連続して切り替わり、カテゴリーの先頭で止まります。

番号	カテゴリー	
1	Synth Hard Lead	シンセ・ハード・リード
2	Synth Soft Lead	シンセ・ソフト・リード
3	Synth Pad/Strings	シンセ・パッド/ストリングス
4	Synth Brass/Bass	シンセ・ブラス/ベース
5	Woodwinds	木管楽器
6	Brasswinds	金管楽器
7	Strings	弦楽器
8	Ethnic	民族楽器
9	Keyboard	鍵盤楽器
10	Guitar/Bass	ギター、ベース
11	Vox/Choir	ボイス、クワイヤ
12	Percussion	打楽器、ドラム

参照

シーン一覧については、『Aerophone Pro シーン・リスト』(PDF) をご覧ください。

好みの音色にエディットする (USER SCENE)

プリセット・シーン (内蔵音色) をエディットして、「ユーザー・シーン」として本機に登録することができます。

シーンをエディットする

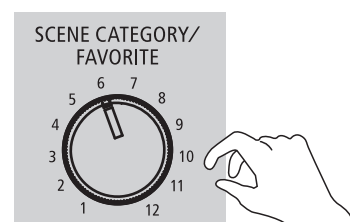
シーンのエディットはアプリ「Aerophone Pro Editor」から操作します。

- ➔ 「スマートフォンと連携して使う」(P.11)
- ➔ 『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』(PDF)

ユーザー・シーンを登録する

[SCENE CATEGORY] つまみの 1 つの目盛りには 1 バンク、50 シーンを登録することができます。

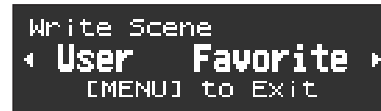
最大 600 のユーザー・シーンを登録することができます。



ユーザー・バンク	ユーザー・シーン
1 ~ 12	1 ~ 50

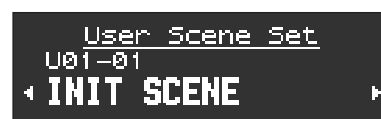
1. [MENU] ボタンを長押しします。

[Write Scene] が点滅します。



キャンセルする場合は、[MENU] ボタンを押します。

2. [-] (◀) ボタンで「User」を選びます。

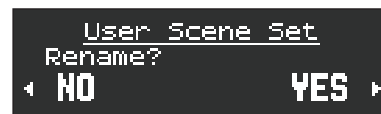


3. [SCENE CATEGORY] つまみで、ユーザー・バンクを選びます。

4. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンで、現在選ばれているシーンをユーザー・シーンの何番に登録するかを選びます。

5. [MENU] ボタンを押します。

シーン名を変更するための確認画面が表示されます。



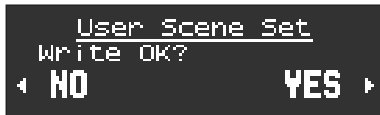
6. 変更する場合は [▶] (YES) ボタンを押します。

[-] [+] (◀ / ▶) ボタン	カーソルを移動
[SCENE] (▲ / ▼) ボタン	文字の変更
[S1] ボタン	1 文字挿入
[S2] ボタン	1 文字削除



7. 変更が終わったら [MENU] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



8. 書き込む場合は [+](▶) ボタン、書き込まない場合は [-](◀) ボタンを押します。

書き込み完了後、書き込んだユーザー・シーンが表示されます。

ユーザー・シーンを選ぶ

1. [SCENE] (▼) ボタンを押しながら [SCENE CATEGORY] つまみを回して、ユーザー・バンクを選びます。

ユーザー・シーン画面が表示されます。



2. [SCENE] (▲ / ▼) ボタンで、ユーザー・シーンを選びます。

ユーザー・シーンをすべて消去する

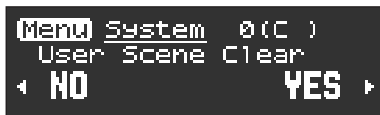
登録したユーザー・シーンをすべて消去する場合は、以下の操作をします。消去の操作をすると、工場出荷時のユーザー・シーンに戻ります。

1. [MENU] ボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。

2. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンで [User Scene Clear] を選び、[MENU] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



3. ユーザー・シーンを消去する場合は [+] (▶) ボタンを押し、キャンセルする場合は、[-] (◀) ボタンを押します。

もう 1 回確認画面が表示されます。



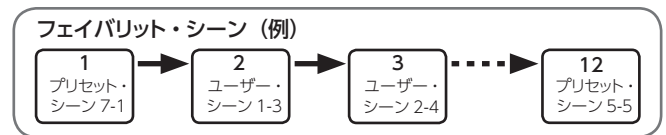
4. 実行する場合は [MENU] ボタンを押し、キャンセルする場合は、[-] (◀) ボタンを押します。

「Executing...」と表示されて、ユーザー・シーンがすべて消去されます。

5. 画面に「Completed!」と表示されたら、[MENU] ボタンを押してメニュー画面に戻ります。

音色を即座に呼び出す (FAVORITE SCENE)

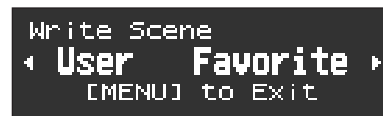
お好みのシーン（プリセット・シーン／ユーザー・シーン）を 12 個まで登録して、即座に呼び出すことができます。これを「フェイバリット・シーン」と呼びます。ライブで使う順に登録しておけば、次に使うシーンをすぐに呼び出すことができ便利です。



フェイバリット・シーンを登録する

1. [MENU] ボタンを長押しします。

「Write Scene」が点滅します。



キャンセルする場合は、[MENU] ボタンを押します。

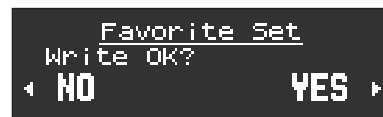
2. [+] (▶) ボタンで、「Favorite」を選びます。



3. [-] [+] (◀ / ▶) ボタン、または [SCENE CATEGORY] つまみで、現在選ばれているシーンをフェイバリット・シーンの何番に登録するかを選びます。

4. [MENU] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



5. 書き込む場合は [+] (▶) ボタン、キャンセルする場合は [-] (◀) ボタンを押します。

書き込み完了後、登録したシーンが表示されます。

フェイバリット・シーンを選ぶ

1. [SCENE] (▲) ボタンを押しながら [SCENE CATEGORY] つまみを回します。

フェイバリットに登録されているシーンが選ばれます。

メモ

システム設定を変更すると、[SCENE] ボタンを押さずに [SCENE CATEGORY] つまみを回すだけで、フェイバリット・シーンを切り替わられます。

→ 『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』(PDF)
 > 本体設定 > システム・パラメーター > Category Knob Mode > Favorite

スマートフォンやパソコンと連携して使う

本機とスマートフォンやタブレットなどのモバイル機器（以下「スマートフォン」と呼びます）を Bluetooth で無線接続すると、スマートフォンで再生する曲に合わせて演奏したり、アプリ「Aerophone Pro Editor」を使ったりすることができます。
また、本機とパソコンを付属の USB ケーブルで接続すると、MIDI やオーディオの送受信ができます。

スマートフォンと連携して使う

設定手順

ペアリング

本機とスマートフォンを Bluetooth で無線接続するには、スマートフォンに本機を登録する（お互いに認証する）ための「ペアリング」が必要です。

ここでは例として、iPhone を使った設定方法を紹介します。



ペアリングの流れ

「スマートフォンの曲に合わせて演奏する」場合と「アプリを使う」場合では、それぞれにペアリング操作が必要です。また、ペアリングの流れが異なりますので、ご注意ください。

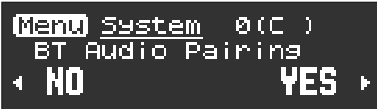


スマートフォンの曲に合わせて演奏する

- ※ Bluetooth オーディオは、入力のみに対応しています。Bluetooth スピーカーやヘッドホンには、出力できません。
- ※ 本機と一度ペアリングしたスマートフォンは、再度ペアリングする必要はありません。「ペアリング済みのスマートフォンと接続する」(P.11) の手順をご覧ください。

スマートフォンとペアリングする

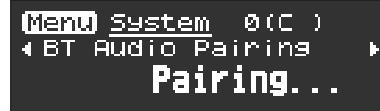
1. 接続したいスマートフォンを、本機周辺に置きます。
2. 本機の [MENU] ボタンを押します。
メニュー画面が表示されます。
3. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンで「BT Audio Pairing」を選び、[MENU] ボタンを押します。
カーソルが下段に移動し、「Yes」「No」が表示されます。



メモ

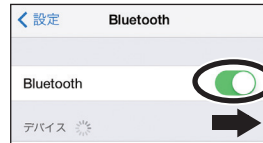
本機の Bluetooth 機能がオフになっている場合は、MENU から「Bluetooth」を「On」にします (P.14)。

4. [+] (▶) ボタンで「Yes」を選びます。



Bluetooth LED が点滅し、本機がペアリング接続待ち状態になります。

5. スマートフォンの設定で、Bluetooth 機能をオンにします。



6. スマートフォンの Bluetooth 「デバイス」 欄に表示される「AE-30 AUDIO」をタップします。

本機とスマートフォンがペアリングされます。ペアリングが完了すると、以下のように表示されます。

スマートフォン	「自分のデバイス」欄に「AE-30 AUDIO」が追加され、「接続済み」と表示される
Aerophone Pro	画面に「Connected」と表示される

スマートフォンの曲を再生する

スマートフォンで曲を再生すると、本機の内蔵スピーカー（またはヘッドホン）から音が鳴ります。

メモ

曲の音量は、スマートフォンで調節してください。

ペアリング済みのスマートフォンと接続する

1. スマートフォンの設定で、Bluetooth 機能をオンにします。
スマートフォンと本機が無線でつながります。
- ※ 上記の操作で接続ができなかった場合は、スマートフォンの「デバイス」欄に表示されている「AE-30 AUDIO」をタップしてください。

スマートフォンのアプリを使う

本機とアプリ「Aerophone Pro Editor」をつないで、シーン（音色）のエディットやスマートフォンからのリモコン操作などをすることができます。



※ アプリは、App Store (iOS)、Google Play (Android) からダウンロードできます。



ここでは例として、iPhone で「Aerophone Pro Editor」を使うときの設定方法を紹介します。

アプリとペアリングする

メモ

本機の Bluetooth 機能がオフになっている場合は、MENU から「Bluetooth」を「On」にします (P.14)。

1. スマートフォンの設定で、Bluetooth 機能をオンにします。



注意

「デバイス」欄にお使いの製品名 (AE-30 など) が表示されてもタップしないでください。
タップした場合は、一時的にデバイス登録を解除して手順 1 からやり直してください。

2. スマートフォンにインストールしたアプリ「Aerophone Pro Editor」を起動します。

3. 「Aerophone Pro Editor」からペアリングを開始します。

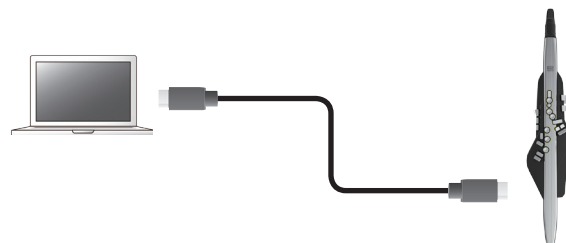
本機とアプリがペアリングされます。

ペアリングが完了すると、アプリ上で「Aerophone に接続しました」と表示されます。

パソコンのソフトウェアと連携して使う

本機とパソコンを付属の USB ケーブルで接続して、パソコン上の DAW などのソフトウェアに演奏をオーディオ録音や MIDI 録音したり、DAW の音源を本機で鳴らしたりすることができます。

※ 充電専用の USB ケーブルは使用しないでください。データ通信ができません。



本機とパソコンを接続して、MIDI やオーディオの送受信するためには、USB ドライバーのインストールが必要です。

USB ドライバーは、パソコン上の DAW などのソフトウェアと本機との間でデータをやりとりするためのソフトウェアです。

メモ

USB ドライバーのダウンロードとインストール手順については、ローランドのホームページをご覧ください。

<https://www.roland.com/jp/support/>

メニューの設定をする

システム、シーン、アサイン、MIDI コントロールの詳細を設定します。

システム設定とシーン設定をする

1. [MENU] ボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



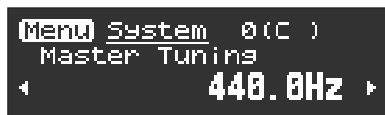
2. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンで、メニュー項目を選びます。

メモ

[-] [+] (◀ / ▶) ボタンを長押しするとメニューが連続で切り替わり、メニュー・タイプ (System、Scene、Assign、MIDI) の先頭で止まります。

3. [MENU] ボタンを押す。

カーソルの位置が下段に変わります。



4. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンで、設定値を変更します。

メモ

- [MENU] ボタンを長押しすると、USER / FAVORITE の登録画面に移動します。
- メニュー画面からシーン画面に戻るときは、[SCENE] ボタンを押します。

「システム設定」と「シーン設定」とは？

メニュー設定には、システム設定とシーン設定があります。

- 「システム設定」は、すべてのシーン（音色）に共通の設定です。設定は変更時に自動で保存されます。
- 「シーン設定」は、シーンごとの設定です。変更した設定は自動では保存されません。設定を保存しておきたい場合は、ユーザー・シーンに保存します。
➔ 「好みの音色にエディットする (USER SCENE)」 (P.9)

システム設定

すべてのシーン（音色）に共通の設定です。

➔ 次の表ではシステム設定の項目の一部を説明しています。システム設定の項目一覧については、『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』 (PDF) をご覧ください。

表示	設定値	説明
Transpose Mode	トランスポーズの動作モードを切り替えます。	
	System	[TRANSPOSE] つまみを回すと、つまみの値のトランスポーズになります。シーンを選んでもトランスポーズは変わりません。
	Scene	トランスポーズは、シーンに保存してあるトランスポーズ値になります。 ※ [TRANSPOSE] つまみが指している値と実際のトランスポーズが異なる場合があります。 ※ シーンにトランスポーズが設定されている場合でも、[TRANSPOSE] つまみを回すと、つまみの値のトランスポーズになります。
Transpose Knob Mode	[TRANSPOSE] つまみの機能を設定します。	
	System Transpose	トランスポーズ機能に使用します。
	Speaker Volume	内蔵スピーカーの音量の設定に使用します。
	Output Volume	PHONES 端子に接続したヘッドホンや OUTPUT 端子から出力される音量の設定に使用します。
	Speaker & Output	内蔵スピーカーの音量と PHONES 端子に接続したヘッドホンや OUTPUT 端子から出力される音量の両方を同時に設定します。
System Tranpose	-5 (G) ~ 0 (C) ~ +6 (F#)	システム・トランスポーズの値を設定します。
Display Off Time	Always On、3sec、10sec、30sec、1 ~ 3min	何も操作をしていないときに、ディスプレイが消灯するまでの時間を設定します。 [Always On] にすると、ディスプレイは常に点灯します。 ディスプレイが消灯している状態で [SCENE] または [MENU] ボタンを押すと、ディスプレイが再点灯します。
Auto Off	Always On、5min、30min	自動的に電源が切れるまでの時間を設定します。 本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます (Auto Off 機能)。 自動的に電源が切れないようにするには、「Always On」に設定してください。

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

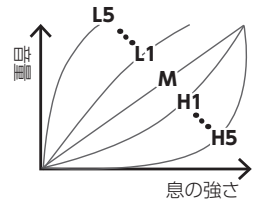
Português

Nederlands

Fingering Chart
運指表

メニューの設定をする

表示	設定値	説明
Output Volume	0 ~ 11	PHONES 端子に接続したヘッドホンや OUTPUT 端子から出力される音量を設定します。
Output Mode	Stereo、Mono	PHONES 端子や OUTPUT 端子から出力されるオーディオ信号を、ステレオにするかモノにするかを設定します。
Breath Curve	息の強さと音の鳴りかた（ブレス感度）を設定します。	
	L5 ~ L1	管楽器初心者にお薦めです。弱く吹いても大きな音が出せます。
	M	標準的な設定です。
	H1 ~ H5	サックス経験者にお薦めです。より強く吹かないと大きな音が出せません。
Bite Ctrl Mode	バイト・センサーによるコントロールの方法を設定します。	
	Off	バイト・センサーのコントロールをオフにします。
	Sax	アコースティック・サックスのように、リードの位置でピッチを制御します。 
	E-Wind	リードをくわえる強さを周期的に変化させて、ピッチを制御します。 
Bend Range Source	System、Scene	ベンドの動作時に、システム設定のベンド・レンジを使う（System）か、各シーンに設定されているベンド・レンジを使う（Scene）かを選びます。
Bend Range Mode	ベンド・レンジのモードを切り替えます。	
	Normal	Bend Range Bite、Bend Range Motion、Bend Range Ctrl のうち最も大きいものをベンド・レンジとして使用します。 バイト・コントロールとサム・レバーなどのベンド・コントロールを同時に使用すると、最大値や最小値に振り切って、それ以上動作しないことがあります。
	Advance	Bend Range Bite、Bend Range Motion、Bend Range Ctrl の組み合わせから、ベンド・レンジを自動計算します。
Asgn Src Breath	System、Scene	ブレス・コントロールに割り当てる Assign パラメーターや MIDI パラメーターについて、システムの設定（System）を使うか、各シーンの設定（Scene）を使うかを選びます。
Asgn Src Bite		バイト・コントロールに割り当てる Assign パラメーターや MIDI パラメーターについて、システムの設定（System）を使うか、各シーンの設定（Scene）を使うかを選びます。
Asgn Src Lever		サム・レバーに割り当てる Assign パラメーターや MIDI パラメーターについて、システムの設定（System）を使うか、各シーンの設定（Scene）を使うかを選びます。
Asgn Src Thumb Pad		サム・パッドに割り当てる Assign パラメーターや MIDI パラメーターについて、システムの設定（System）を使うか、各シーンの設定（Scene）を使うかを選びます。
Asgn Src Motion		モーション・コントロールに割り当てる Assign パラメーターや MIDI パラメーターについて、システムの設定（System）を使うか、各シーンの設定（Scene）を使うかを選びます。
Asgn Src S1/S2		[S1] / [S2] ボタンに割り当てる Assign パラメーターや MIDI パラメーターについて、システムの設定（System）を使うか、各シーンの設定（Scene）を使うかを選びます。
Asgn Src Key		演奏キーに割り当てる Assign パラメーターや MIDI パラメーターについて、システムの設定（System）を使うか、各シーンの設定（Scene）を使うかを選びます。
Harmony Source		システムのハーモニー設定を使う（System）か、各シーンのハーモニー設定を使う（Scene）かを選びます。
Scene Shortcut	Off、On	シーンの切り替えに便利なショートカット機能のオン／オフを設定します。 ➡ 「ショートカット」 (P.22)
Bluetooth	Off、On	Bluetooth 機能のオン／オフを切り替えます。
Bluetooth ID	Off、1 ~ 9	Aerophone Pro が複数ある場所でスマートフォンとペアリングをする場合は、各 Aerophone Pro に ID（識別番号）を設定することができます。 ID を設定すると、スマートフォンやアプリに表示されるデバイス名の末尾に設定した数字が付きます。 (例: 「AE-30 AUDIO 1」 「AE-30 1」 など) ※ 設定した ID を有効にするには、本機の電源を入れ直してください。
BT Audio Pairing	(Pairing Start)	Bluetooth オーディオのペアリングをします。 ➡ 「スマートフォンの曲を再生する」 (P.11)
MIDI Ctrl PC	Off、On	MIDI コントロール・モードが On のときの、プログラム・チェンジ出力のオン／オフを切り替えます。



表示	設定値	説明
MIDI Ctrl BS	Off, On	MIDI コントロール・モードが On のときの、バンク・セレクト (MSB、LSB) 出力のオン／オフを切り替えます。
Key Delay	0 ～ 10	演奏キーを操作してから動作するまでの時間を設定します。 複数のキーを同時に押したり離したりするとき、連指のばらつきによって意図しない音が鳴ることがあります。 値が大きいくほど、意図しない音を出にくくすることができます。
Fingering Mode	連指モードを設定します。 ➡ 各モードの連指については、「連指表」をご覧ください。	
	Sax	サクソ連指です。
	Recorder	リコーダー連指です。 一般的なリコーダーの連指に、テーブル・キーを使って音域を広げています。 この連指では、左右のサイド・キーを誤って押しても音が切り替わらないように、サイド・キーが無効になっています。
	E-Wind	電子吹奏楽器連指です。 一般的なサクソやリコーダーの「ドレミファソラシド」と同じ連指と、半音上げる／半音下げるキーの組み合わせになっています。
		1、2、3、4、5、6、C 一般的なサクソやリコーダーの「ドレミファソラシド」と同じ連指
		Tc、G#、C# 半音上げる
		Ta、Tf、Eb、B 半音下げる
		Bb 1 音下げる
	Trumpet	トランペット連指です。 一般的な金管楽器の連指に近いモードです。右手の 4、5、6 キーがトランペットの 1、2、3 ピストンに対応します。
	Left Hand	左手のみで演奏できる連指です。
	Right Hand	右手のみで演奏できる連指です。
	Flute	フルート連指です。 一般的なフルート連指に、以下のキーを使って音域を広げています。
		x、C1、C2、C3 半音上げる
		p、B、C4、Tc、Ta 半音下げる
		Bb 1 音下げる
	Clarinet	クラリネット連指です。 一般的なクラリネット連指に、以下のキーを使って音域を広げています。
		C1 半音上げる
		p、C5 半音下げる
Factory Reset	-	システム設定を工場出荷時の設定に戻します。 ➡ 「工場出荷時の設定に戻す」(P.21)

シーン設定

シーンごとの設定です。

※ 次の表では、本体で設定できる項目の一部を説明しています。下表以外の項目については、『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

すべてのシーン設定は、アプリ「Aerophone Pro Editor」から設定することができます。

表示	設定値	説明
Scene Volume	0 ～ 127	シーンごとの音量を設定します。
Scene Transpose	-5 ～ 0 ～ +6	シーンのトランスポーズ（移調）を設定します。 ※システム設定のトランスポーズ・モードが「Scene」の場合、シーン選択時にこのトランスポーズ値になります。 ※シーンを選んだあとで、トランスポーズつまみを操作すると、つまみのトランスポーズ値になります。
Scene Octave Shift	-3 ～ 0 ～ +3	シーンのオクターブ・シフト量を設定します。
All Effects Off	-	シーンに設定されているすべてのエフェクト（コーラス／リバーブ／ディレイ／MFX）をオフにします。 オフにするときは、[MENU] ボタンを押してから [+](▶) ボタンを押します。

メニューの設定をする

メモ

シーン設定を変更して保存せずに他のシーンを選ぶと、以下のメッセージ画面が表示されます。



保存しないでシーンを切り替える場合は [-] (◀) ボタンを、保存する場合は [+] (▶) ボタンを押します。
キャンセルする場合は、[MENU] ボタンを押します。

この画面を表示しないように設定することもできます。

- ➔ 『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』(PDF)
➤ 本体設定 > システム・パラメーター > Edit Confirm

コントローラーに機能を割り当てる (Assign)

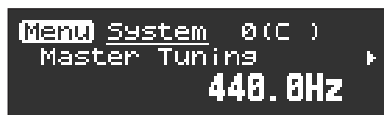
ボタンやサム・レバーなどのコントローラーに機能を割り当て、どのようにコントロールするかを設定します。

- ➔ 割り当てられる機能一覧については、『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』(PDF) をご覧ください。

※ Assign のパラメーターは、システムにある各コントローラーの Asgn Src (アサイン・ソース) の設定を「System」にした場合に動作します。
Asgn Src を「Scene」にした場合は、各シーンのアサイン設定が有効になります (P.14)。

1. [MENU] ボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



2. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンを長押しして、「Assign」のパラメーターを選びます。



メモ

[-] [+] (◀ / ▶) ボタンを長押しすると、メニュー・タイプが System、Scene、Assign、MIDI と切り替わります。

3. [MENU] ボタンを押す。

カーソルの位置が下段に変わります。



4. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンで、連続動作のコントローラーの機能動作の上限値／下限値、または、スイッチ動作のコントローラーを押したとき／離したときの値を設定します。

メモ

[MENU] ボタンを長押しすると、USER / FAVORITE の登録画面に移動します。

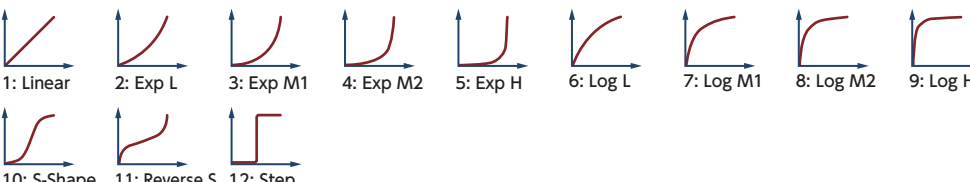
連続動作のコントローラーにアサインする

プレス（息の強さ）、バイト（リードをくわえる強さ）、サム・レバー、サム・パッド、モーションでは、以下のパラメーターを設定します。

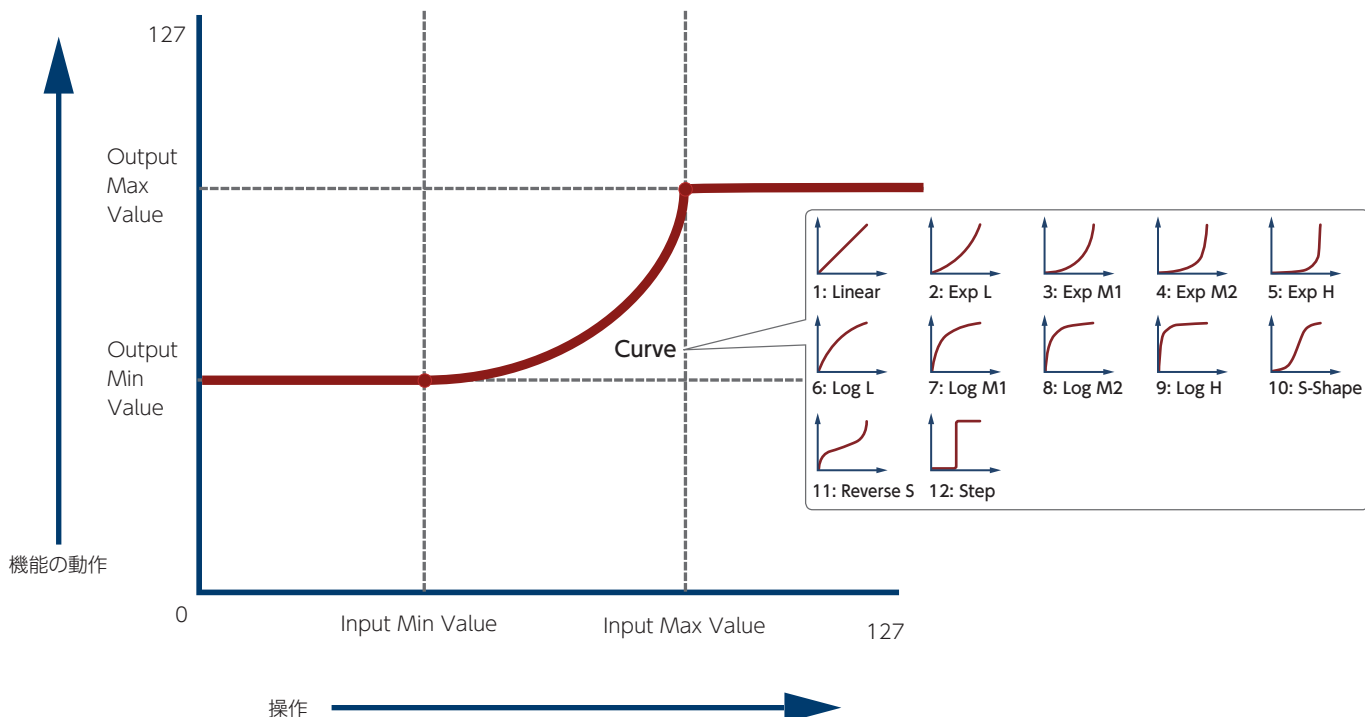
※ 表中「***」の部分には、以下の名称が入ります。Breath の 1 番目は Breath_1、S1 の 2 番目は S1_2 のように表記しています。

Breath_1 ～ 8、BiteDn_1 ～ 4、BiteUp_1 ～ 4、LeverDn_1 ～ 2、LeverUp_1 ～ 2、ThumbPad_1 ～ 4、Motion_1 ～ 2

※ Func が「Off」のコントローラーでは、そのコントローラーのアサイン設定に関連するパラメーターは表示されません。

パラメーター	表示	設定値	説明
Assign Function	*** Func	➡『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』(PDF)	連続動作のコントローラーに割り当てる機能を設定します。
Input Min Value	*** In Min	0 ～ 127	コントローラーの操作が有効になる範囲を、下限値 (Min) / 上限値 (Max) で設定します。
Input Max Value	*** In Max		
Output Min Value	*** Out Min	0 ～ 127	割り当てた機能が動作する範囲を、下限値 (Min) / 上限値 (Max) で設定します。
Output Max Value	*** Out Max		
Mode	*** Mode	Momentary、Latch	動作モードを設定します。
			Latch 操作をするたびに Output Min Value と Output Max Value が切り替わります。 Input Min Value と Input Max Value の中間の値で切り替わります。
			Momentary グラフ (P.17) のようにコントローラーへの操作に対応して、機能が動作します。
Curve	*** Curve	動作モードが Momentary のときの、動作カーブを設定します。 	

機能アサイン(連続動作)



English

日本語

Deutsch

Français

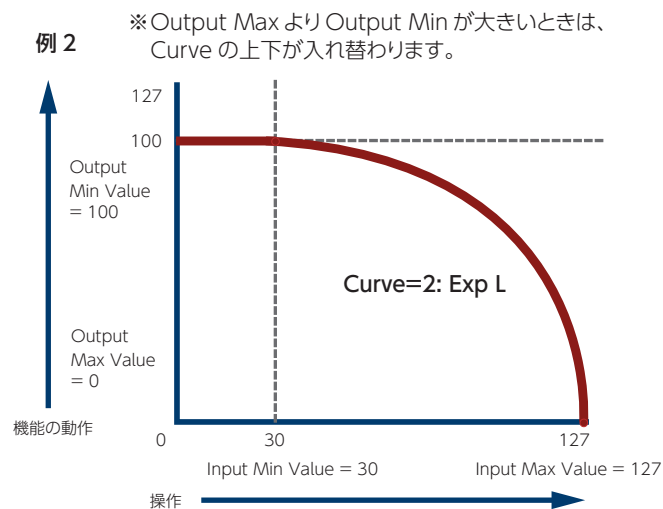
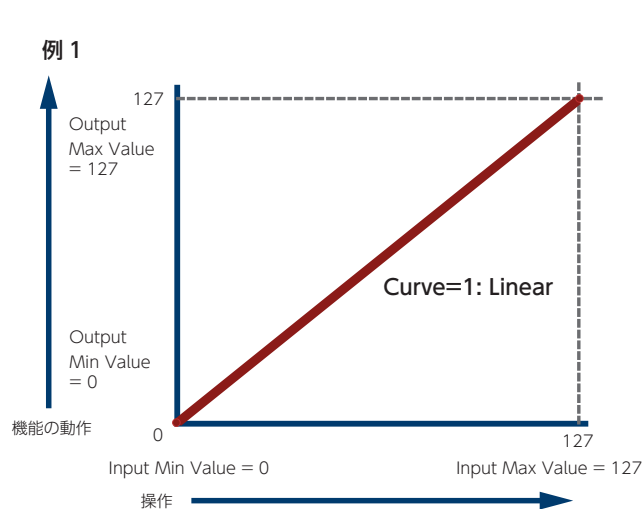
Italiano

Español

Português

Nederlands

Fingering Chart
運指表



スイッチ動作のコントローラーにアサインする

[S1] / [S2] ボタン、サイド・キーでは、以下のパラメーターを設定します。

※ 表中「***」の部分には、以下の名称が入ります。

S1_1～2、S2_1～2、X_1～2、C1_1～2、C2_1～2、C3_1～2、C4_1～2、C5_1～2、Tc_1～2、Ta_1～2

※ Func が「Off」のコントローラーでは、そのコントローラーのアサイン設定に関連するパラメーターは表示されません。

パラメーター	表示	設定値	説明
Assign Function	*** Func	➡『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』(PDF)	各コントローラーを押したときに、割り当てる機能を設定します。
Release Value	*** Release Val	0～127	ボタンから指を離したときの値 (Release) / ボタンを押したときの値 (Press) を設定します。
Press Value	*** Press Val		
Mode	*** Mode	Momentary、Latch	動作モードを設定します。
			Latch ボタンを押すたびに Press Value と Release Value が切り替わります。
			Momentary ボタンを押している間 Press Value になり、離すと Release Value になります。

コントローラーに MIDI コントロール用の機能を割り当てる (MIDI CONTROL)

各コントローラーに MIDI コントロール用の機能を割り当て、どのようにコントロールするかを設定します。

※ ASSIGNと同様、MIDI コントロールのパラメーターは、システムにある各コントローラーの Asgn Src (アサイン・ソース) の設定を「System」にした場合に動作します。Asgn Src を「Scene」にした場合は、各シーンの MIDI コントロール設定が有効になります (P.14)。

MIDI コントロール・モードとは？

外部音源を本機からコントロールしたり、DAW などのソフトウェアと連携したりする場合に使います。
[MIDI CONTROL] スイッチで、MIDI コントロール・モードのオン/オフを切り替えることができます。

MIDI コントロール・モードでは、以下のことができます。

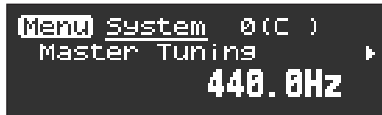
- 各コントローラーに、内蔵音源コントロールとは別に MIDI コントロール用の機能を割り当てる
※ MIDI コントロール・モードがオフのときは、内蔵音源コントロール用の MIDI 情報が出力されます。
- シーンを選んだときに、シーンに設定してある MIDI 情報を出力する

また、システム設定の「MIDI Ctrl Sound」をオンにすると、本機の音源を鳴らしながら外部の MIDI 機器をコントロールすることができます。
「MIDI Ctrl Sound」をオフにすると、MIDI コントロール・モード時には本機の音源からは音が鳴らなくなります。

➔『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』(PDF)

1. [MENU] ボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



2. [-] [+] (◀/▶) ボタンを長押しして、「MIDI」のパラメーターを選びます。



メモ

[-] [+] (◀/▶) ボタンを長押しすると、メニュー・タイプが System、Scene、Assign、MIDI と切り替わります。

3. [MENU] ボタンを押す。

カーソルの位置が下段に変わります。



4. [-] [+] (◀/▶) ボタンで、連続動作のコントローラーの機能動作の上限値/下限値、または、スイッチ動作のコントローラーを押したとき/離れたときの値を設定します。

メモ

[MENU] ボタンを長押しすると、USER / FAVORITE の登録画面に移動します。

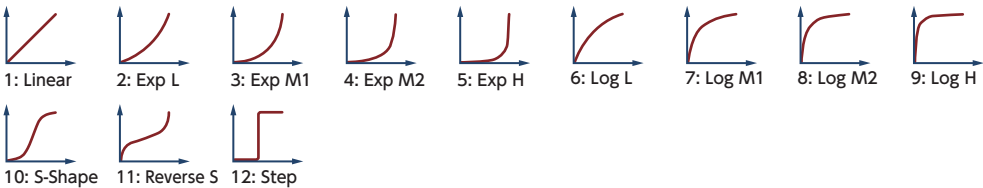
連続動作のコントローラーへのアサイン

ブレス（息の強さ）、バイト（リードをくわえる強さ）、サム・レバー、サム・パッド、モーションでは、以下のパラメーターを設定します。

※ 表中「***」の部分には、以下の名称が入ります。

Breath_1 ～ 8、BiteDn_1 ～ 4、BiteUp_1 ～ 4、LeverDn_1 ～ 2、LeverUp_1 ～ 2、ThumbPad_1 ～ 4、Motion_1 ～ 2

※ Func が「Off」のコントローラーでは、そのコントローラーのアサイン設定に関連するパラメーターは表示されません。

パラメーター	表示	設定値	説明
Assign Function	*** Func	➡『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』（PDF）	連続動作のコントローラーに割り当てる機能を設定します。
Input Min Value	*** In Min	0 ～ 127	コントローラーの操作が有効になる範囲を、下限値（Min）／上限値（Max）で設定します。
Input Max Value	*** In Max		
Output Min Value	*** Out Min	0 ～ 127	割り当てた機能が動作する範囲を、下限値（Min）／上限値（Max）で設定します。
Output Max Value	*** Out Max		
Mode	*** Mode	Momentary、Latch	動作モードを設定します。
			Latch 操作をするたびに Output Min Value と Output Max Value が切り替わります。 Input Min Value と Input Max Value の中間の値で切り替わります。
			Momentary グラフ（P.17）のようにコントローラーへの操作に対応して、機能が動作します。
Curve	*** Curve	動作モードが Momentary のときに、動作のカーブを設定します。 	

スイッチ動作のコントローラーへのアサイン

[S1] ／ [S2] ボタン、サイド・キーでは、以下のパラメーターを設定します。

※ 表中「***」の部分には、以下の名称が入ります。

S1_1 ～ 2、S2_1 ～ 2、X_1 ～ 2、C1_1 ～ 2、C2_1 ～ 2、C3_1 ～ 2、C4_1 ～ 2、C5_1 ～ 2、Tc_1 ～ 2、Ta_1 ～ 2

※ Func が「Off」のコントローラーでは、そのコントローラーのアサイン設定に関連するパラメーターは表示されません。

パラメーター	表示	設定値	説明
Assign Function	*** Func	➡『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』（PDF）	各コントローラーに割り当てる機能を設定します。
Release Value	*** Release Val	0 ～ 127	ボタンから指を離れたときの値（Release）／ボタンを押したときの値（Press）を設定します。
Press Value	*** Press Val		
Mode	*** Mode	Momentary、Latch	動作モードを設定します。
			Latch ボタンを押すたびに Press Value と Release Value が切り替わります。
			Momentary ボタンを押している間 Press Value になり、離すと Release Value になります。

オート・オフ機能を解除する

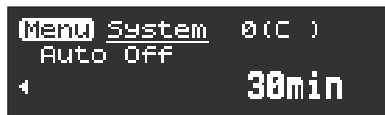
本機は、演奏や操作をやめてから一定時間経過すると自動的に電源が切れます。自動的に電源が切れないように設定したり、自動的に電源が切れるまでの時間を変更したりすることができます。

1. [MENU] ボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。

2. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンで「Auto Off」を選び、[MENU] ボタンを押します。

カーソルの位置が下段に変わります。



3. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンで、設定値を変更します。

設定値	説明
30min	演奏や操作をやめてから 30 分経過すると、自動で電源が切れます。
5min	演奏や操作をやめてから 5 分経過すると、自動で電源が切れます。
Always On	電源は自動的に切れません。

工場出荷時の設定に戻す

システム設定を工場出荷時の設定に戻します（ファクトリー・リセット）。

メモ

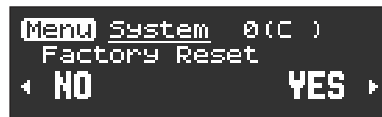
この操作をしてもユーザー・シーンに登録しているシーンは消えません。ユーザー・シーンに登録しているシーンをすべて消去する場合は、「ユーザー・シーンをすべて消去する」(P.10) をご覧ください。

1. [MENU] ボタンを押します。

メニュー画面が表示されます。

2. [-] [+] (◀ / ▶) ボタンで「Factory Reset」を選び、[MENU] ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



3. ファクトリー・リセットする場合は [+] (▶) ボタン、キャンセルする場合は [-] (◀) ボタンを押します。

もう 1 回確認画面が表示されます。



4. 実行する場合は [MENU] ボタンを押し、キャンセルする場合は、[-] (◀) ボタンを押します。

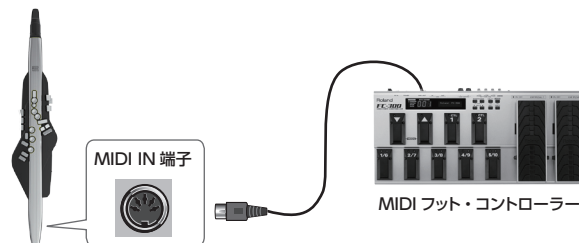
「Executing...」と表示されて、ファクトリー・リセットが実行されます。



5. 電源を入れ直します。

MIDI フット・コントローラーで操作する

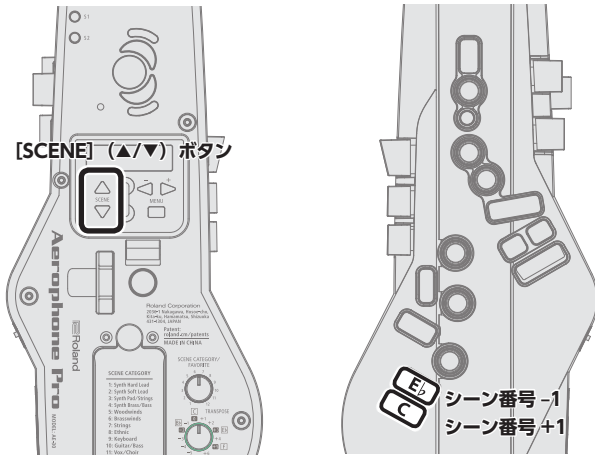
MIDI IN 端子に MIDI フット・コントローラー（別売）を接続すると、ペダル操作でシーンを切り替えるなど、さまざまなコントロールができます。



➔ MIDI フット・コントローラーで操作できる機能については、『Aerophone Pro パラメーター・ガイド』（PDF）をご覧ください。

ショートカット

ボタン	説明
[◀] を押しながら [▶]	値を素早く減少
[▶] を押しながら [◀]	値を素早く増加
[SCENE] (▲) または (▼) + 演奏キー [E]	シーン番号を -1 ※システム設定の「Scene Shortcut」 (P.14) が On のときに有効
[SCENE] (▲) または (▼) + 演奏キー [C]	シーン番号を +1 ※システム設定の「Scene Shortcut」 (P.14) が On のときに有効

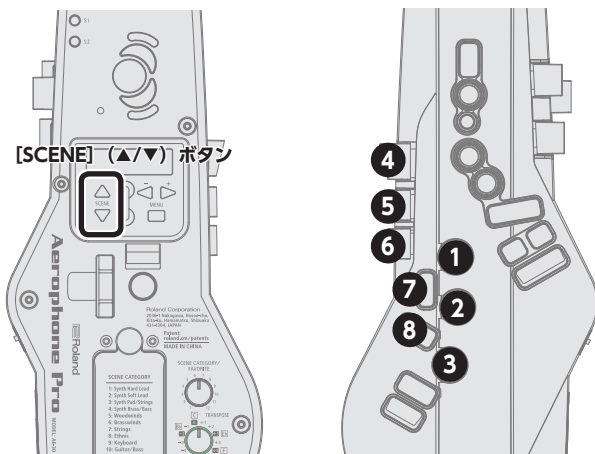


ユーザー・シーンを即座に呼び出す

ユーザー・シーン (U01-01 ~ U01-08) は、[SCENE] (▲) または (▼) ボタンを押しながら [1] ~ [8] のいずれかの演奏キーを押すことで、即座に呼び出すことができます。

ライブでシーンを切り替えるときに便利です。

※システム設定の「Scene Shortcut」(P.14) が on のときに有効



お手入れ方法

1. マウスピースが唾液で汚れた場合は、取りはずして水洗いします。



2. 柔らかい布で水滴が残らないように拭きます。

3. マウスピースをはめるときは、Aerophone Pro 本体との間に隙間ができないように差し込みます。

※ 市販のリコーダー・クリームを塗ると、着脱しやすくなります。



注意

- マウスピースの前後を間違えないようご注意ください。誤った向きに差し込むと抜けなくなることがあります。
- マウスピースの内側にあるネジの突起で、手をけがしないようご注意ください。

4. 本機を壁などに立てかけて、本体内の水分を抜きます。

マウスピースを上にして壁などに立てかけると、中にたまった唾液がウォーター・ドレインから出てきます。柔らかい布で拭き取ってください。

注意

唾液を抜くときは、ウォーター・ドレインから排出するように本機を立てかけます。マウスピースを下にするなど、誤った方法をしてしまうと、故障する恐れがあります。

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、お問い合わせになる前に、以下の点をチェックしてみてください。チェックしても問題が解決しない場合は、お客様相談センターにお問い合わせください。

症状	確認	対策	ページ
音に関するトラブル			
音が出ない／音が小さい	電池で使用する場合、電池の向きは正しいですか？	正しい向きに入れ直してください。	P.6
	本機とアンプ内蔵スピーカー／ヘッドホンを正しく接続していますか？	アンプ内蔵スピーカーは本機の OUTPUT 端子、ヘッドホンは PHONES 端子に接続してください。	P.5
		アンプ内蔵スピーカーを接続する場合は、アンプ内蔵スピーカーの入力端子に接続してください。	-
	ヘッドホンまたはアンプ内蔵スピーカーのオーディオ・ケーブルが断線していませんか？	ケーブルを交換してください。	-
	接続しているアンプ内蔵スピーカーから音が出ない場合、ヘッドホンをつなぐと音が出ていますか？	音が出るようであれば、アンプ内蔵スピーカーの接続ケーブルが断線しているか、接続しているアンプ内蔵スピーカーに原因があります。接続している機器やケーブルを確認してください。	-
	本機の音量が下がっていませんか？	適正なレベルに調節してください。	P.6
	接続しているアンプ内蔵スピーカーの音量が下がっていませんか？	適正なレベルに調節してください。	-
	Bluetooth で接続したスマートフォンなどの音量が下がっていませんか？	スマートフォン側の音量を上げてください。	-
音にノイズが載る	アルカリ電池やマンガン電池を使用していませんか？	ニッケル水素電池を使用してください。	-
意図しない音が鳴る	複数のキーを同時に押したり離したりするとき、連指のばらつきによって意図しない音が鳴ることがあります。	キー・ディレイを設定してください。 ➔『Aerophone Pro パラ미터・ガイド』（PDF）	-
バイト・コントロールがうまくできない	マウスピースが奥まではまっていますか？	マウスピースが奥までしっかりはまっていないと、バイト・コントロールが効かなくなる場合があります。本機とマウスピースの間に隙間ができないように装着してください。	-
プレス・コントロールがうまくできない	本機の中に水滴がたまっていますか？ 本機内に水滴がたまっていると、プレス・コントロールが効かなくなる場合があります。	本機を壁などに立てかけて、本体内の水分を抜いてください。	P.22
USB に関するトラブル			
パソコンと接続できない	USB ケーブルは正しく接続されていますか？	接続を確認してください。	P.5
MIDI に関するトラブル			
外部 MIDI 機器の音が出ない	MIDI チャンネルは合っていますか？	本機と MIDI 機器のチャンネルを合わせてください。 ➔『Aerophone Pro パラ미터・ガイド』（PDF） >シーン・パラメータ > SCENE/CONTROL (MIDI) > Tx Channel	-
外部機器から MIDI 接続したときに、音がでない	プレス・コントロールやエクスプレッションの情報を送っていますか？	プレス・コントロールや、エクスプレッションの情報を送らないと、ノート情報を送っても音が鳴らない場合があります。	-
その他			
電池の充電ができない	本機に電池を入れて、AC アダプターをつないでいませんか？	本機では充電電池の充電はできません。市販の充電器をお使いください。	-

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

Español

Português

Nederlands

Fingering Chart
運指表

Bluetooth 機能に関するトラブル

症状	確認事項	対策	ページ
スマートフォンに、「AE-30」が表示されない	本機の Bluetooth 機能がオフになっていませんか?	本機の Bluetooth 機能をオンにしてください。 [MENU] → [-] [+] [Bluetooth] → [MENU] → [-] [+] [On] Bluetooth オーディオ機能: ペアリングを開始 ([MENU] → [-] [+] [BT Audio Pairing] → [MENU] → [+] [Yes]) すると、スマートフォンに「AE-30 AUDIO」というデバイス名が表示されます。 Bluetooth MIDI 機能: アプリ「Aerophone Pro Editor」の設定から、ペアリングを開始します。	P.14 P.11 P.12
Bluetooth オーディオに接続できない	スマートフォンの Bluetooth デバイス欄に「AE-30 AUDIO」が表示されている場合	スマートフォンの設定で、Bluetooth デバイス「AE-30 AUDIO」の登録を一時的に解除してから Bluetooth 機能をオフ → オンにして、ペアリングし直してください。	-
	スマートフォンの Bluetooth デバイス欄に「AE-30 AUDIO」が表示されていない場合	スマートフォンの設定で、Bluetooth 機能をオフ → オンにしてから、本機からペアリングを開始し、ペアリングし直してください。	-
Bluetooth MIDI に接続できない	Bluetooth MIDI 機能は、スマートフォンの Bluetooth 設定ではなく、アプリ「Aerophone Pro Editor」の設定で「AE-30」を選んでペアリングします。スマートフォンの Bluetooth デバイス欄に「AE-30」が表示されてもタップしないでください。タップした場合は、「AE-30」を解除してから Bluetooth 機能をオフ → オンにして、接続し直してください。		-
ペアリングしたスマートフォンがつかまらない	接続してもすぐに切れてしまうときは、スマートフォンの Bluetooth 機能を一時的にオフにして再度オンにすると、接続される場合があります。		

お問い合わせの窓口



ホームページをご覧ください

Roland製品

電子楽器製品（電子ピアノ、電子ドラム、シンセサイザーなど）

https://roland.cm/roland_support

プロAV製品（ビデオ・ミキサー、業務用映像音響機器など）

https://roland.cm/proav_support

BOSS製品

https://roland.cm/boss_support

'22. 02. 01 現在

Fingering Chart / 運指表

Sax / サックス

A#/B $\flat$ 3	B3	C4	C#/D $\flat$ 4	D4	D#/E $\flat$ 4	E4	F4

F#/G $\flat$ 4	G4	G#/A $\flat$ 4	A4	A#/B $\flat$ 4	B4

C5	C#/D $\flat$ 5	D5	D#/E $\flat$ 5	E5

F5	F#/G $\flat$ 5

Recorder / リコーダー

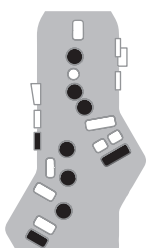
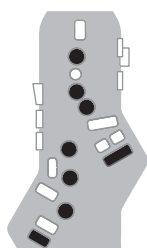
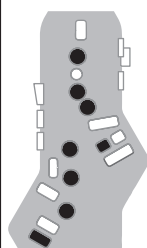
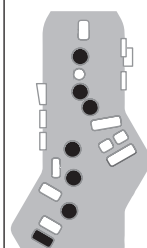
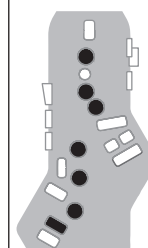
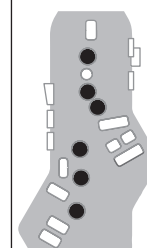
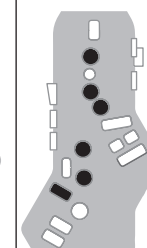
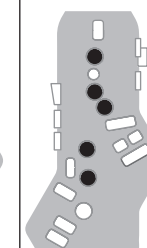
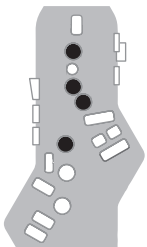
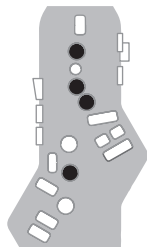
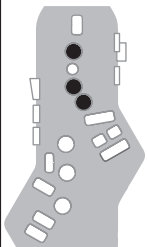
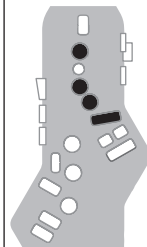
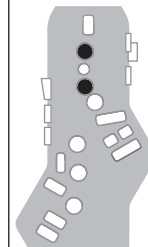
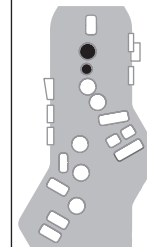
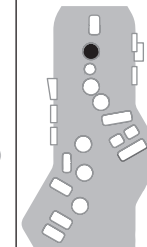
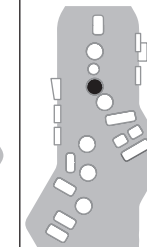
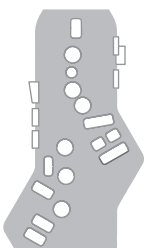
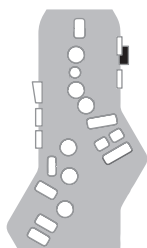
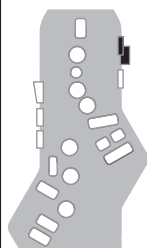
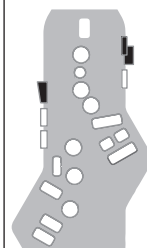
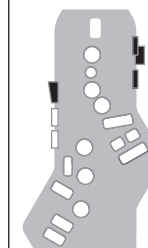
The side keys are disabled so that the note does not change even if you inadvertently press the left or right side key.

左右のサイド・キーを誤って押しても音が切り替わらないように、サイド・キーが無効になっています。

A#/B $\flat$ 3	B3	C4	C#/D $\flat$ 4	D4	D#/E $\flat$ 4	E4	F4
F#/G $\flat$ 4	G4	G#/A $\flat$ 4	A4	A#/B $\flat$ 4			
B4	C5	C#/D $\flat$ 5	D5				

Electronic Wind / 電子吹奏楽器

1, 2, 3, 4, 5, 6, C	The same "C D E F G A B C" fingering as a standard sax or recorder / 一般的なサックスやリコーダーの「ドレミファソラシド」と同じ運指
Tc, G#, C#	Raise by a semitone / 半音上げる
Ta, Tf, Eb, B	Lower by a semitone / 半音下げ
Bb	Lower by a whole tone / 1音下げ

A3	A#/B $\flat$ 3	B3	C4	C#/D $\flat$ 4	D4	D#/E $\flat$ 4	E4
							
							
F4	F#/G $\flat$ 4	G4	G#/A $\flat$ 4	A4	A#/B $\flat$ 4	B4	C5
							
							
C#/D $\flat$ 5	D5	D#/E $\flat$ 5	E5	F5	F#/G $\flat$ 5	G5	
							
							

Trumpet / トランペット

Right-hand keys 4, 5, and 6 correspond to pistons 1, 2, and 3 of a trumpet.

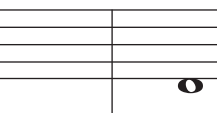
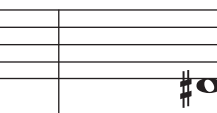
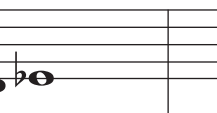
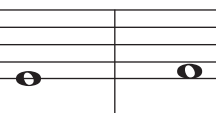
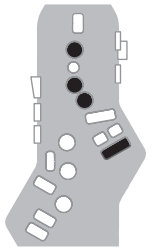
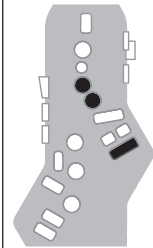
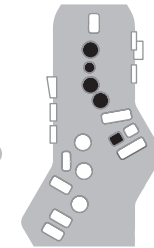
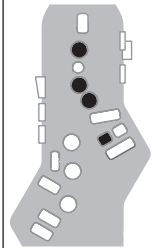
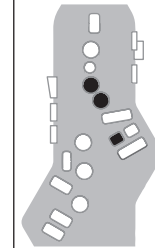
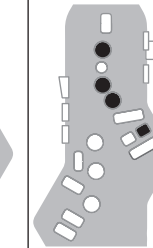
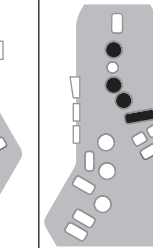
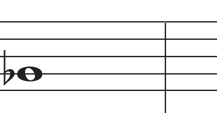
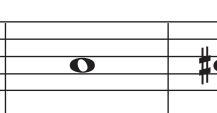
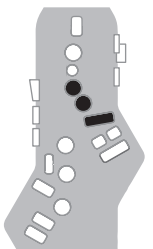
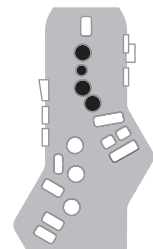
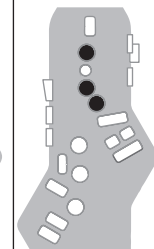
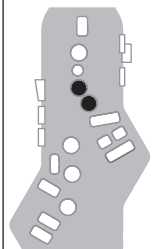
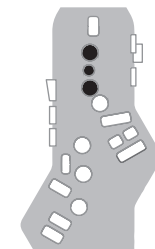
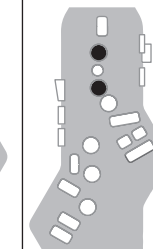
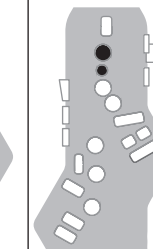
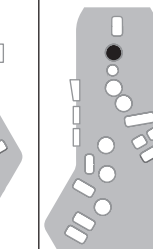
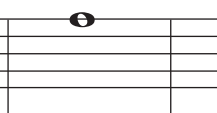
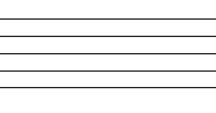
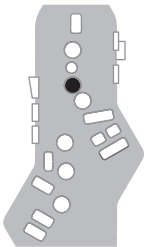
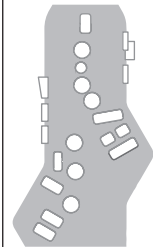
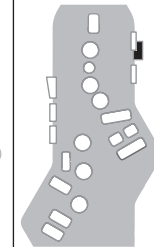
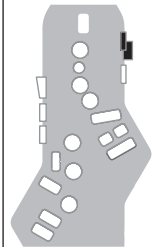
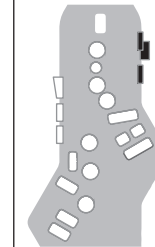
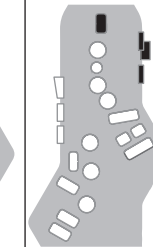
右手の4、5、6キーがトランペットの1、2、3ピストンに対応します。

F#/G $\flat$ 3	G3	G#/A $\flat$ 3	A3	A#/B $\flat$ 3	B3	C4	C#/D $\flat$ 4
D4	D#/E $\flat$ 4	E4	F4	F#/G $\flat$ 4	G4	G#/A $\flat$ 4	A4
A#/B $\flat$ 4	B4	C5	C#/D $\flat$ 5	D5	D#/E $\flat$ 5	E5	F5
F#/G $\flat$ 5	G5						

Left Hand / 左手

Fingering that lets you perform using only the left hand.

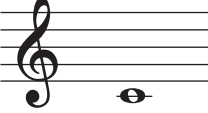
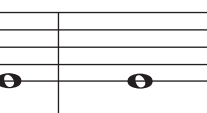
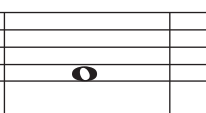
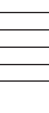
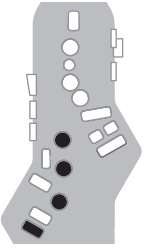
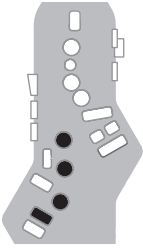
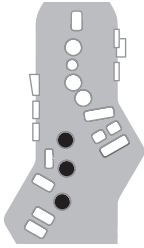
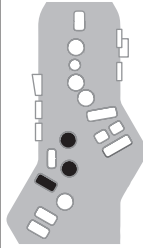
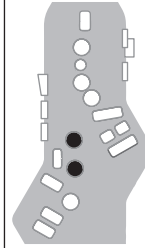
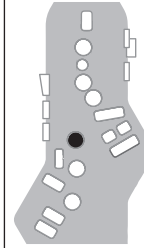
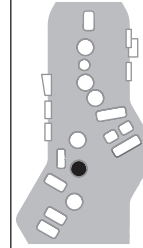
左手のみで演奏できる運指です。

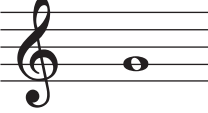
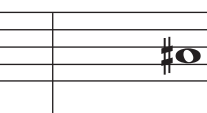
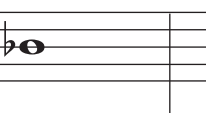
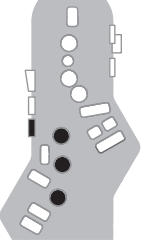
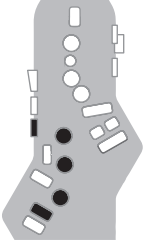
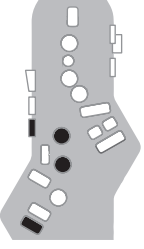
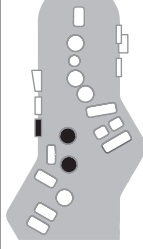
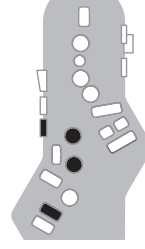
C4	C#/D $\flat$ 4		D4	D#/E $\flat$ 4		E4	F4
							
							
F#/G $\flat$ 4		G4	G#/A $\flat$ 4		A4	A#/B $\flat$ 4	B4
							
							
C5	C#/D $\flat$ 5	D5	D#/E $\flat$ 5	E5	F5		
							
							

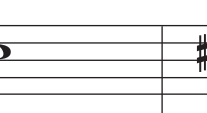
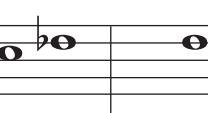
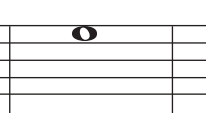
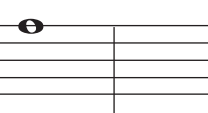
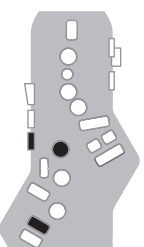
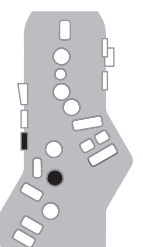
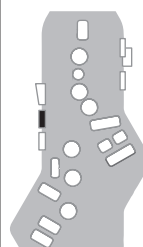
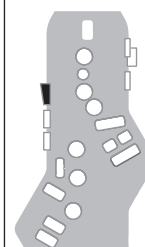
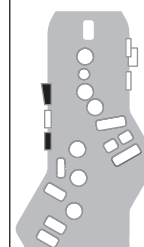
Right Hand / 右手

Fingering that lets you perform using only the right hand.

右手のみで演奏できる運指です。

C4	C#/D $\flat$ 4	D4	D#/E $\flat$ 4	E4	F4	F#/G $\flat$ 4
						
						

G4	G#/A $\flat$ 4	A4	A#/B $\flat$ 4	B4
				
				

C5	C#/D $\flat$ 5	D5	D#/E $\flat$ 5	E5	F5
					
					

Flute / フルート

Flute fingering.

フルートに対応した運指です。

x, C1, C2, C3	Raise by a semitone / 半音上げる
p, B, C4, Tc, Ta	Lower by a semitone / 半音下げる
Bb	Lower by a whole tone / 1音下げる

C4	C#4/D♭4	D4	D#4/E♭4	E4	F4	F#4/G♭4

G4	G#4/A♭4	A4	A#4/B♭4	B4	C5	C#5/D♭5

D5	D#5/E♭5			E5	F5

F#5/Gb5	G5	G#5/Ab5	A5

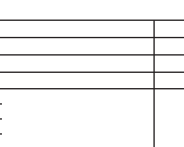
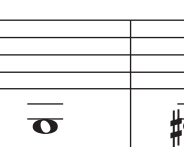
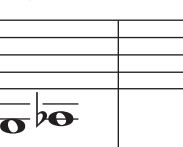
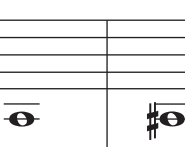
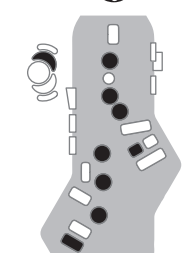
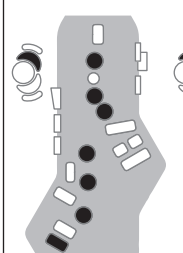
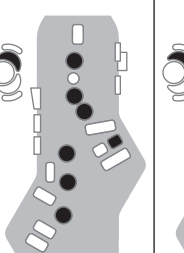
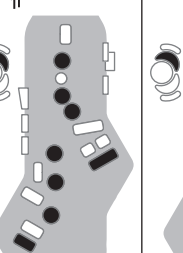
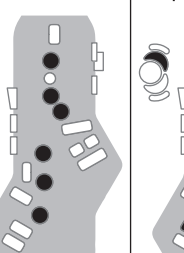
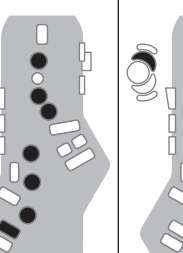
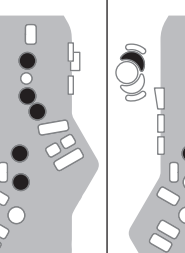
A#5/Bb5	B5	C6

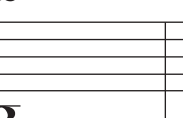
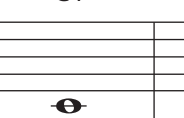
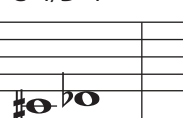
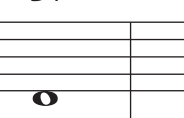
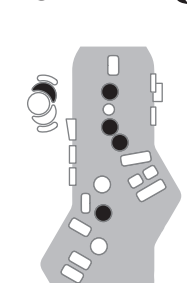
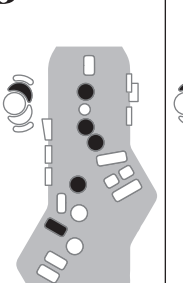
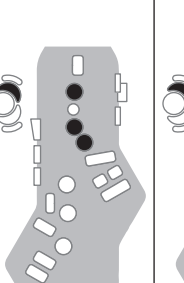
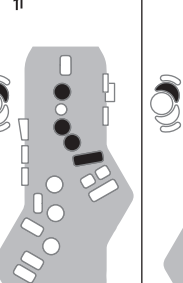
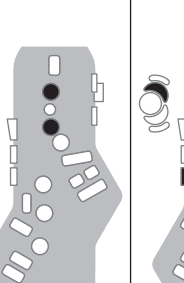
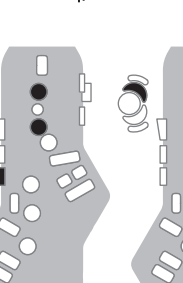
Clarinet / クラリネット

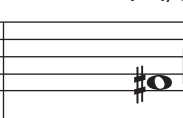
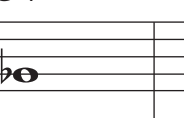
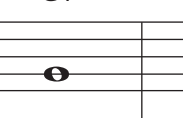
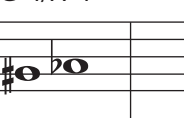
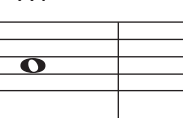
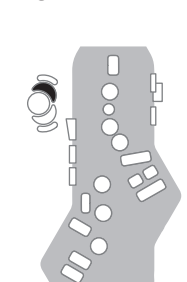
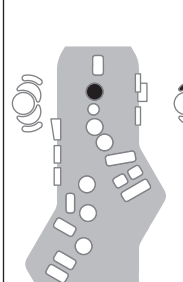
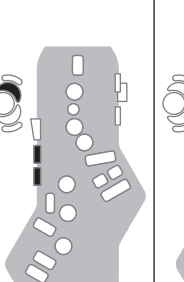
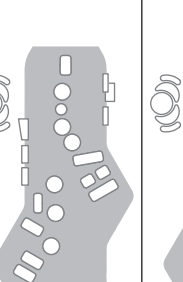
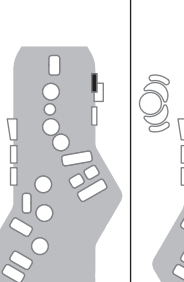
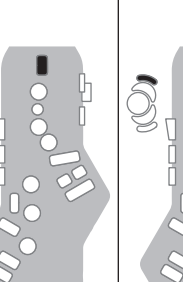
Clarinet fingering.

クラリネットに対応した運指です。

C1	Raise by a semitone / 半音上げる
p, C5	Lower by a semitone / 半音下げる

E3	F3	F [♯] 3/G [♭] 3	G3	G [♯] 3/A [♭] 3	A3	A [♯] 3/B [♭] 3
						
						

B3	C4	C [♯] 4/D [♭] 4	D4	D [♯] 4/E [♭] 4	E4
					
					

F4	F [♯] 4/G [♭] 4	G4	G [♯] 4/A [♭] 4	A4	A [♯] 4/B [♭] 4
					
					

B4	C5	C [#] 5/D ^b 5	D5	D [#] 5/E ^b 5	E5	F5

F [#] 5/G ^b 5	G5	G [#] 5/A ^b 5	A5	A [#] 5/B ^b 5	B5

C6	C [#] 6/D ^b 6	D6	D [#] 6/E ^b 6	E6

F6	F [#] 6/G ^b 6	G6	G [#] 6/A ^b 6	A6

MEMO

